

おやま 町議会だより

NO.

175

2023/8月15日号

富士山須走口5合目に新たにオープン！



富士山須走口
インフォメーションセンター
Mt.Fuji Subashiri Trail
Information Center

新たな議会構成決まる

- 4 | 6月定例会ピックアップ
- 5 | 各常任委員会報告
- 6 | 11人が代表・一般質問 町政のここを問う
- 17 | 議会改革調査特別委員会、広報広聴委員会
- 18 | 第9回「わたしのベストスポット」、議員研修報告

UD
FONT

発行：
静岡県駿東郡小山町議会

構成決まる



議長
遠藤 豪
3期目(新生会)

本年4月の統一地方選挙後に開かれた5月臨時会において、議長にご推挙を賜り、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

ここ数年間はコロナウイルスの蔓延により、町民の皆様には何かと不自由な生活を強いられてきたこととご推察いたします。ここへきてようやくコロナも一段落し、以前の生活を取り戻しつつあることから、一日も早い終息を願っております。

議長として、議会と当局の二元代表制の元、町民のため様々な諸問題に対し、全力で取り組む所存です。今後、さらに議会改革に積極的に取り組み、開かれた議会を目指します。

小山町が安心して安全な暮らしやすいまちになるよう努力してまいります。皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
岩田 治和
4期目(無会派)

4月の町議会議員選挙では、立候補者全員無投票当選という結果となり、町民の皆様からは信任が得られなかったことは大変残念です。

全国的にも若者からは、議会に対し敬遠されがちな風潮があります。本来ならば、若者が大きなビジョンを持ち、議会に参加されることが必要と思われませんが、現実は大変消極的のようです。

今後4年間、町民の皆様からの信任が得られるよう各議員が精一杯活動されることが望まれ、批判のない議会であることが必要と思われま。

開かれた議会と公平、公正で町民目線の立場から新しいまちづくりに全力を投じていきたいと考えています。

新たな議会

5月
臨時会

任期満了に伴う町議会議員選挙が行われ、13人の新しい議員が決まりました。5月12日には、令和5年第2回5月臨時会が開催され、正副議長の選挙等を行いました。その結果をお伝えするとともに、各常任委員会委員等を紹介します。

総務建設 委員会



平野正紀委員 牧野恵一委員 池谷元委員
渡辺悦郎副委員長 米山千晴委員長 鈴木豊委員

所管事項
① 未来創造部、企画総務部、経済産業部、都市基盤部、支所及び会計収納課の分野に関する事務
② 他の常任委員会の所管に属さない事務
①、②の調査並びに議案、請願等の審査

文教厚生 委員会



室伏辰彦委員 蘭田豊造委員 岩田治和委員
白井光昭副委員長 小林千江子委員長 石原和美委員

所管事項
教育委員会、住民福祉部及び危機管理局の分掌に関する事務の調査並びに議案、請願等の審査

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するため常任委員会とは別に設置されます。

委員長 鈴木豊
副委員長 室伏辰彦
委員 平野正紀
” ” ” 小林千江子
” ” ” 米山千晴
岩田治和

御殿場市・小山町 広域行政組合議会議員

ごみ処理場・消防署・斎場など御殿場市と広域で行っている事業を審議する議会です。
御殿場市議会議員7名、小山町議会議員5名で構成されています。

副議長 鈴木豊
” ” ” 石原和美
” ” ” 牧野恵一
” ” ” 白井光昭
蘭田豊造

議会選出監査委員

地方自治法に定められた議会選出の監査委員です。

蘭田 豊造

※ 広報広聴委員会と議会改革調査特別委員会については、17ページをご覧ください。

6月定例会

令和5年第3回6月定例会が6月5日から6月21日までの17日間の会期で開催されました。

定例会では、令和4年度各会計予算繰越計算書等の報告8件、工事請負契約(変更)等4件、条例の制定・改正4件、一般会計補正予算(第2号)、町道路線の認定・変更・廃止3件、財産の取得1件など31議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

討論等の内容

土地の処分について

上野工業団地造成事業の工業用地のうち、工事代金に代えて弁済する部分を除いた残余の土地全部を、大和ハウス工業株式会社東京本店に売却するもの。土地の面積は12万2806.3㎡、処分価格は23億円。

反対討論

【菌田豊造議員】

人件費やその他の経費を含んでないのは明らかである。町民の財産として、1円でも高く売るという使命感がないのではないか。

賛成討論

【小林千江子議員】

ここまで形にするには、現場だけでなく、関係各位の様々な苦勞があったと思う。一日も早く完成し、企業誘致により小山町の名が全国に広がることを切に願う。

一般会計補正予算(第2号)

既定の予算に、1億6973万7000円を追加し、総額を126億5746万円とし、地方債の補正をするもの。

歳入の主なもの

新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金 8554万円増

国からの交付見込額。

繰越金

6200万円増
令和4年度繰越金が見込めるため増額。

歳出の主なもの

住民税非課税世帯支援給付金 3900万円

住民税非課税世帯を支援する給付金。

中小企業等物価高騰対策緊急支援金 4490万円

中小企業等に対し物価高騰対策緊急支援金を交付するもの。

反対討論

【菌田豊造議員】

政策監や非常勤特別職について反対であり、それらの給与や非常勤特別職の報酬等が盛り込まれているこの補正は認められない。

小山町特別職 指定条例の制定

町長専任の秘書の職として、新たに政策監1名を置き、任期を2年とするもの。

反対討論

【牧野恵一議員】

地方公務員法では、選任の秘書を特別職として置くことはできるが、政策監なる者を特別職として置くことは認めていない。現在の財政状況で特別職を増やし、報酬を町民に負担させるのか。

賛成討論

【鈴木豊議員】

小山町を再稼働させるという強い意志の表れだと思ふ。スピード感をもって政策を推進するためには、町長のサポート役として政策監は必要なポストだと考える。

小山町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法に規定する非常勤特別職の報酬を定めるもので、改正の内容は、報酬を月額42万円以内と定め、本条例の別表第1に追加するもの。

反対討論

【牧野恵一議員】

具体的な職務を示さず新たな非常勤特別職を置くことはできない。新たに設けようとする非常勤の特別職に、月額42万円以内という破格の報酬を用意することの理由説明もない姿勢に抗議する。

賛成討論

【渡辺悦郎議員】

小山再稼働を実現するためにはスピード感が必要である。短期間に仕事を進めるには、その道のプロなどの専門家等の知識や能力等を借りることが必要である。

常任委員会

総務建設委員会

委員長 米山 千晴

総務建設委員会に付託された10議案について6月14日に審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

特別職指定条例の制定

Q 地方公務員法の規定では、秘書の職で、条例で指定するものになっているが、秘書というのは名前だけであり、実態としては政策監を置きたいということが伺えるが。

A あくまでも、町長の秘書の職ということで、政策監を置こうとするものではないです。従来、町長が担っていた各種事業についての対外的な折衝や調整といったものを主に、この事業を進めやすくしていくというもので、政策秘書という考え方もこの中には含まれます。この4年間でスピード

感をもって事業を進めるために、特別職としての政策監が必要という判断をしました。

一般会計補正予算(第2号)

Q 須走地域教育振興協議会の目的は。

A 須走地域教育振興協議会は、須走彰徳山林会様からの寄附金を財源とした町からの補助金をもとに、公的な3つの教育機関である、こども園、小・中学校の円滑な連携を促進し、総合的な教育の質の向上、また教育環境の改善に資することを目的として、今年4月1日に設立したものです。



上野工業団地の状況を確認

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

Q 非常勤の特別職とは、地方公務員法に基づき、個別具体的な職を規定する必要がある。今回のような、「上記以外の者」という表現では、法の趣旨から全く認められないと思うが。

報告

A 個別の具体的な事業を短期間でスピード感をもって進めるためには、職員の力に加え、専門家の知識、経験が必要となるため、この表現としました。ただし、厳格な運用が求められるため、今後、職務の内容、報酬、具体的な勤務の仕方等について規則で規定していきます。



町道の認定箇所等を確認

文教厚生委員会

委員長 小林 千江子

文教厚生委員会に付託された1議案について6月15日に審査を行い、全員賛成で原案のとおり可決すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

一般会計補正予算(第2号)

Q 今回購入するJアラート受信機は、どのようになっているのか。

A 代替機がないため、Jアラートとして購入するものです。Jアラートで取り扱われている緊急情報の種類は、内閣官房から発表される弾道ミサイルに関する情報、ゲリラ特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報等、気象庁からの緊急地震速報、地震情報、津波情報、火山情報、消防庁からの緊急連絡となっております。



菜の花こども園を視察

Q 住民税非課税世帯支援給付金の3900万円余の内容は。

A 家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対して、プッシュ型で1世帯あたり3万円を給付するもので、1300世帯を見込んでいます。



みらいこども園を視察

代表・一般質問に11人が登壇

町政のここを問う



室伏 辰彦
(会派 令明)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



代表質問 (一括)



町内に多数存在する狭隘道路
きょうあい

Q 町長の政治姿勢について A スピード感を持って町政運営に当たります

2期8年小山町長を務めた後、4年間のプラン

クを経て、再び小山町長に戻ってこられた。この間、町の将来像を描いていたと思う。そこで次の点について伺う。

を掲げました。

Q 第5次総合計画と、進めようとしている道筋と違いがあるのか。町をどのように元気に変えようとしていくのか。

A 町長

Q おやま再稼働、停滞からの前進とのことだが、再稼働しなければならぬことは何か。また停滞していることは何だと考えているか。

A 町長

新型コロナウイルスの影響もありましたが、ほとんど全てが停滞という言葉で表現する以外ない状態でした。91項目の政策提言は、おやまを前進させ、また再稼働が必要と考えた事業をまとめたもので、政策提言の第一目一番地に「子育て教育100年の計への挑戦」

私の政策提言は、第5次小山町総合計画前期基本計画34項目の基本施策や施策の方向に沿った具

体的な取り組みでもあり、将来像の実現に向け、より前進できるものと考えます。これから4年間は、前期基本計画を着実に推進するとともに、政策提言の9つの柱、その全てが小山町の未来への投資であることから、スピード感を持って町政運営に当たることがあります。

Q 空き家・空き地問題を助長させている要因と

して、町内では狭隘道路きょうあいが多数存在する。狭隘道路きょうあい、空き家・空き地問題に対する具体的な施策を伺う。

A 町長

狭隘道路きょうあいに対する地区要望のとりまとめを行い、現状の把握に務めます。安全で快適な道路網の整備を推進する中で、空き家・空き地に関する情報の共有を図りながら、宅地の有効活用に至る道路整備事業にも取り組めます。

空き家対策は、現状把握のための実態調査と空き家所有者への意向調査を実施した上で、必要な対策を講じていきます。

Q 小山町の出生数が、昨年は76人となっている。出産祝い金の見直しは、いつから実施するのか。

また持続的な支援を行うつもりはあるのか伺う。

A 町長

実施時期は、7月1日からの新体制のもと、早急に仕組みを整え提案します。子育て世帯への支援については、国の動向を見ながら、町独自の支援策を検討します。

Q 中高一貫校の設立とは、どのようなことを考えているのか。

A 町長

連携型中高一貫教育は、特色ある教育課程を編成でき、子どもの個性や創造性を伸ばし、社会性や豊かな人間性を育むことが期待できることから、県に働きかけを行い具体的な取り組みを進めます。

代表質問 (一括)



米山 千晴
(新生会)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



目指す将来像は「金太郎のように元気で活気あふれるまち」

Q 町長が目指す新たな町づくりについて

A 「金太郎のように元気で活気あふれるまち」を目指します

新町長は、選挙戦を通して、様々な政策提言「マニフェスト」として9本の柱を掲げ、町民の皆様

に訴えてこられた。

先の町長時には、「未来

拠点事業」の推進や、「町

ににぎわいを創出する」

事業を推進し、成果を上

げられ、小山町を全国に

発信された。

5月臨時会の所信表明

では、町の人口減少に危

機感を持たれ、一丁目一

番地に「子育て教育10

0年の計への挑戦」を掲

げ、以下8つの柱とつな

げ、総仕上げが子育てで、

未来への投資を行うもの

と推測する。

新町長は、選挙戦を通して、様々な政策提言「マニフェスト」として9本の柱を掲げ、町民の皆様

に訴えてこられた。

先の町長時には、「未来

拠点事業」の推進や、「町

ににぎわいを創出する」

事業を推進し、成果を上

げられ、小山町を全国に

発信された。

5月臨時会の所信表明

では、町の人口減少に危

機感を持たれ、一丁目一

Q 込山町長の考えるそれぞれの政策の柱について

の考えと、目指す小山

町の将来像を伺いたい。

A 町長

1期目の政策提言から、

そのタイトルを「おやま

を元気にする金太郎大作

戦」としてきましたが、

私の考える小山町の将来

像は正に、静岡県で1番

の「金太郎のように元気

で活気あふれるまち」で

す。政策提言の柱に掲げ

た91の事業の実現により、

この将来像が具現化され

るものと確信しています。

その中でも、子育て環境

の充実と、教育と学習環

境の充実が急務であると

考え、将来像実現のため、

1番目に「子育て教育1

00年の計への挑戦」を

掲げました。

Q 政策提言のうち、「町

の人口減少対策」となる

第1番目に掲げる具体的

な施策は何か。具体的な

目標はあるのか。町の現

状分析と、施策の打ち出

し順序はあるのか。

A 町長

「おやまを元気にする」

政策提言の全てが、人口

減少対策につながるもの

と考えていますが、小山

町の人口減少、特に出生

数の減少は、若年層の減

少が大きな要因の一つと

なっています。このため、

若年層の町内への移住定

住の促進と、政策提言の

1番目に掲げた、子育て

と学習環境の充実に関係

する施策については、特

にスピード感をもって進

めたいと考えています。

そのため、体制の見直し

を行い、「おやまで暮らす

う課」を復活させ、移住

施策を強化します。

Q 込山町長が掲げる91

項目の事業推進には、巨

額な予算が必要ではない

かと考えるが、昨今の「行

政改革」が責務となっ

ている中で、その資金は

何をもって充てるのか。

A 町長

施策を実現させるため

には、行財政改革は避け

て通れないと認識してお

り、政策提言の「デジタ

ル行政の推進・ふるさと

納税の見直し・行政コス

トの削減・民間の力を活

用した行政コストの削減」

を挙げ、これらを中心に

様々な手法により財源の

確保やコストの削減を推

し進めます。

Q 込山町長が掲げる91

項目の事業推進には、巨

額な予算が必要ではない

かと考えるが、昨今の「行

政改革」が責務となっ

ている中で、その資金は

何をもって充てるのか。

A 町長

施策を実現させるため

には、行財政改革は避け

て通れないと認識してお

り、政策提言の「デジタ

ル行政の推進・ふるさと

納税の見直し・行政コス

一般質問 (一括)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



鈴木 豊
(新生会)



現在は町の直営となっているあしがら温泉

Q 「リバーガーデンタウンおやま」の今後の取り組みは A 実現可能性を考慮しながら町が順次取り組みます

リバーガーデンタウンおやま(優良田園住宅)について、早期の開発を町が間に入って取り組むべきと思うので、その考えを問う。

Q 込山町長は、この優良田園住宅の開発について、今後、どのように進めていくのか。

A 町長
民間が事業主体となる前提で取り組んでしましたが、民間参入が得られなかった状況を踏まえ、町が事業主体となって実現可能性を考慮しながら順次取り組みます。

Q 足柄竹之下上ノ原地区は、地権者に説明会をしているので、早期に開

発を進めてほしいがその考えと、今後、実施するとなれば、どのような手法を考えて、進めていくのか。

A 町長
地元関係者の皆様のご理解が得られれば事業化に向け前進できると考えます。具体化の手法は、優良田園住宅の建設の促進に関する法律に基づく

手続きを踏んで進めていきます。

Q 民間誘導型の住宅地整備をすると言うが、行政が入ってほしい。

A 町長
民間主体で実施していただける場合には、地元説明会や許認可手続きの助言などに町が協力できると考えます。

Q 公共施設の指定管理者導入の進め方は A 各施設に適した管理運営のあり方を検討します

小山町では、公共施設について、指定管理者により管理運営されている施設があるが、まだ指定管理になっていないものもある。

Q あしがら温泉や足柄ふれあい公園、バーベキューガーデン、足柄農園の指定管理者導入への考えを伺う。

A 企画総務部長
あしがら温泉について

は、民間による柔軟で迅速な施設運営に加え、更なるサービスの向上を図るために、令和6年度からの指定管理者制度導入に向けて準備を進めていきます。

Q 小山駅前交流センターの管理運営についても各種手法での指定管理へ移行する方向性は。

A 企画総務部長
サイクルゲートとして、

民間事業者のアイデアの活用、指定管理者の導入等も視野に入れ、最も効果的な施設の運営方法について検討を進めていきます。

Q その他、豊門公園、西洋館、誓いの丘、森村橋などの管理運営について、指定管理へ移行する方向性を伺う。

A 企画総務部長
誓いの丘公園、須走多

目的広場については、施設単独ではなく、地域ごとの包括的な活用、管理運営のあり方について今後検討します。

豊門公園及び森村橋については、指定管理者制度など民間のノウハウを活用し、文化財としての価値を引き上げ、多くの人が活用できる施設にしていきたいと考えます。

一般質問 (一問一答)



平野 正紀

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



障がい者と地域との交流の懸け橋に(モルック体験会)

Q 障がい者の社会参加による地域共生社会の実現を A 共生社会や差別の解消について啓発していきます

町が策定する障がい者の生活と就労支援のための各種の計画やプランに基づき、全町民が協力しての地域共生社会の実現について質問する。

Q 障がい者が充実した生活を送るための具体的な方針は。

A 町長
皆が障がい者の困りごとである社会のバリアを

知り、バリアを取り除くための行動を起こす共生社会の実現について町は啓発していきます。

Q 障がいのある方が地域活動に参加できないという声をどう捉えているか。

A 住民福祉部長
障がいのない人と違う扱いを受けることは差別に該当します。差別の解

消に向けて広報等により啓発していきます。

Q 町の公共施設や生活道路のバリアフリー対策の現状と今後の対応は。

A 住民福祉部長
公共施設等の新設や改築を行う際に、バリアフリー対策に配慮します。

その対応は。
A 住民福祉部長
新入会員がほばいないため、町が各団体と話し合い支援していきます。

Q 福祉施策推進の進捗管理はどうしているか。

A 住民福祉部長
障害者計画等推進懇談会において進捗を管理し、改善に努めています。

Q 本町も補聴器購入助成制度の導入を考えてはどうか A 補聴器購入補助制度について今後検討していきます

耳の間こえの悪い方の自立した生活や積極的な社会参加に有効である補聴器購入助成制度の導入について質問する。

は47人、手帳はないが18歳未満を対象の補聴器助成利用者は2人、それ以外は把握していません。

Q 聴覚障害の身体障害者手帳交付者、手帳はないがいわゆる難聴と判断される方、補聴器を活用している方の人数は。

Q 聴覚障がいのある方が日常生活で感じている、いわゆる「困った感」にはどのようなものがあるか。

A 住民福祉部長
聴覚障害の手帳交付者

A 住民福祉部長
高齢者で耳の遠い方は、話を聞くことが億劫にな

り、周囲も用事以外を話さなくなり。そのため言葉を理解する機会が減り、認知機能が衰えていくと言われています。

Q 町は助成制度の導入をどう考えているか。仮に、両耳30デシベル以上、助成基準額を3〜5万円とした場合、どの程度の予算が必要か。

A 住民福祉部長
今年度事業を開始した御殿場市を参考に人口按分すると、40人分120万円が必要となります。助成制度を実施している市町の条件等を参考に研究していきます。

一般質問 (一括)



全国の自治体で設置が広がっているおくやみコーナー

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



石原 和美
(会派 令明)

Q 「おくやみコーナー」の開設について A サービスを拡充し、より良い対応を目指します

現在、デジタル庁が推

進しているデジタル田園

都市国家構想は、デジタ

ルの力で地域の暮らしを

より良いものにし、地域

の活性化を行い、地方の

独自の豊かさを活かした

ながら、都市と同じような

魅力や利便性を生み出す

という取り組みである。

その構想の一環として、

デジタル庁から窓口DX

SaaSのアプリケー

ションも提供されており、

今や書かない窓口への移

行は、最優先に取り組む

べき課題と考える。

そして、厚生労働省の

人口動態統計からは今後

は多死社会に突入すると

予想される。誰もが経験

する身近な家族の死。そ

の際に欠かせないのは死

亡後の様々な手続き。各

課を回り、何回も同じ情

報を書き、時間的にも精

神的にもかなりの負担と

なる。

町民へのサービスと利

便性向上の意味からも、

身近な方の死という悲し

みの中で行う死亡後の手

続きが1つの窓口で完了

するワンストップ窓口の

おくやみコーナーの開設

が必要と考える。

Q 高齢の世帯主が亡く

なった場合に役場で行う

死亡後の各種手続きは、

おおよそ10項目程度、最

低でも5か所の課での手

続きが必要と思われる。

各課での書類の記載時間、

Q 町長

故人の状況や窓口の混

雑状況によっても異なり

ますので一概には言えま

せんが、おおよそ2時間

以内と推測します。

Q 「職員、来庁者双方が

待ち時間等も含めた手続

きに要する時間は。

Q 「職員、来庁者双方が

落ち着いて手続きできる

ように予約制にする。わ

かりやすいように『おく

やみコーナー』の表示を

する」との答弁をいただ

いたが、加えて、手続き

一般質問
(一括)

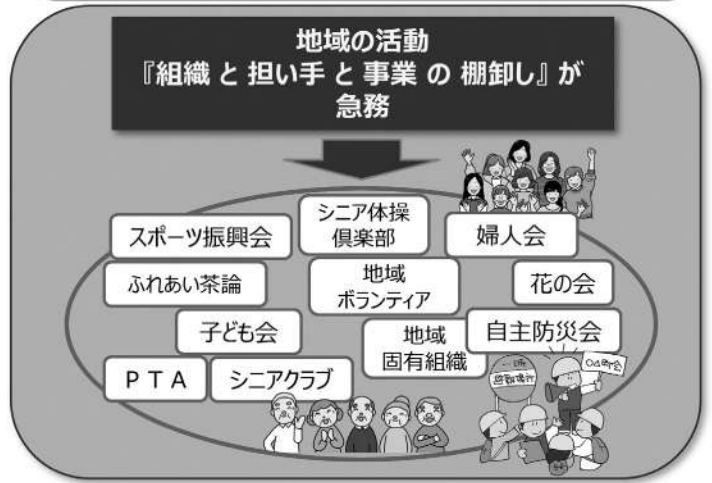


白井 光昭
(会派 令明)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



担い手不足により地域組織の崩壊が進む



Q 地域組織の崩壊と重層的支援体制整備事業について
A まちづくり協議会の活発化等により団体を支援します

地域共生社会の実現を

目指し、地域は福祉や防

災などで「担い手として

の役割」を期待され、位

置付けられている。しか

し、小山町では、担い手

不足により、婦人会、シ

ニアクラブなど地域組織

の崩壊が急激に進んでお

り、危機的な状況にある。

また、8050問題や

ヤングケアラーなど制度

の狭間で救われない人々

が増えている。国や県は、

この問題を解決する方法

として、市町における既

存の相談支援等の取り組

みを活かしつつ、地域住

民の複雑化・複合化した

支援ニーズに対応する包

括的かつ多重層的な支援

体制を構築するため、「重

層的支援体制整備事業」

を提示し、補助金を用意

静岡県下では函南町が

トップランナーとして、

令和4年度から全面的な

取り組みを開始し、静岡

市、富士宮市など12市町

が令和6年度から全面的

に取り組みべく移行準備

活動を推進しているが、

小山町の考えを問う。

Q 地域共生社会の実現

にどう取り組んでいるの

か。

A 町長

地域共生社会の実現の

ために創設した重層的支

援体制整備事業のうち、

本町では令和3年度から

「包括的相談支援」を実

施し、移行準備している

12市町に含まれています。

残る「参加支援」と「地

域づくり支援」事業の実

施に向けて、現在準備を

地域組織の崩壊をど

う考え、どのような対策

を考えているのか。

A 町長

任意の地域団体等にお

いては、余暇の過ごし方

や生活様式の多様化、集

団活動離れ、役職に就き

たくない等の理由から、

会員減少や後継者不足が

生じ、団体の運営が成り

立たなくなってきたいま

す。各団体が運営につい

て改善していくことや、

「まちづくり協議会」な

どの活動を活発化させ、

地域の賑わいや課題解決

に取り組んでいきたいと

考えています。

Q 重層的支援体制整備

事業における地域づくり

支援事業は、地域組織の

崩壊を防ぐ手立てになる

るか。

A 住民福祉部長

重層的支援体制整備事

業の3つの柱のうちの「地

域づくり支援事業」は、

地域住民の抱える複合課

題を解決するために、担

い手の組織づくりや各種

団体の連携を深めていく

ものです。そのため、任

意の地域団体の存続とい

う課題解決には目的が沿

わないと考えています。

ただし、地域団体の会員

減少や後継者不足という

課題の解決には、町も積

極的に関わっていくこと

が必要であると考えてい

ます。

一般質問 (一問一答)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



小林 千江子
(新生会)



今年3月に行われた性の多様性に関する講演会

Q 性の多様性並びにLGBTQの理解促進とその対応は

A LGBTQなど性の多様性の理解促進に努めます

日本には約8・9%の性的マイノリティに属する人がいると言われている。

や関連書籍の紹介などを行うことで、理解促進に取り組めます。

A 教育次長

今後は、町のホームページに県の相談窓口へのリンク先やLGBTQに特化した内容を掲載することで、有益かつ利便性の良い情報の提供に努めます。

Q 学校の校則・配布物への配慮が求められるが対応は。

A 教育長

LGBTQまたはこのような考え方の視点から、一つ一つ丁寧に対応していきます。

法務省人権擁護局によると、理解が乏しいが故に思春期にはいじめやからかいの対象となることも多く、学校では様々な侮蔑的な言葉を投げかけられたり、自尊心を傷つけられたりし、相談相手も居場所も見つからず不登校や最悪の場合には自ら死を選んでしまう等も報告がされている。

Q 「静岡県パートナーシップ宣誓制度」が令和5年3月1日から開始しました。それに伴い町は県とどのような連携を行うのか。

A 教育次長

放課後児童クラブ入所の申込やその送迎をはじめ、こども園の送迎、教育・保育給付認定申請及び施設等利用給付認定申請、そして町営住宅への入居申し込みを行います。

Q 中学校の制服選択性導入検討の考えは。

A 教育長

小山町校長会で昨年度、制服のあり方についてアンケートの結果より、現在の制服に愛着を持っている生徒の気持ちも考え、すぐに制服の大幅な変更をせず、スカートとストラップの選択制を検討していくこととしました。その中で、性の多様性やLGBTQへの誤解を招かないよう慎重に検討していきます。

Q 学校の相談しやすい体制作りはどのように取り組まれるのか。

A 教育長

教職員が、子ども達と深い信頼関係を作っているよう、各学校で改めて研修と指導を進めていきます。併せて、教職員がLGBTQに関心を持つていることを伝えたり、関係書籍を教室などに置いたりすることで相談しやすい環境づくりを行っていきます。

Q 町はこの課題をどのように捉え対応をしているのか。

A 教育長

「第5次小山町男女共同参画社会づくり行動計画」に基づき、町ホームページの充実や、講演会

Q パートナシップ制度利用者に対し町営住宅を含む様々なサービスの表示が足りていないようだが対応は。

が対応は。

一般質問 (一括)



渡辺 悦郎
(会派 令明)

YouTuberにて
議会の様子が
ご覧頂けます



令和7年度に一般診療を中止する予定の自衛隊富士病院

Q 町の医療体制維持について A 須走地区に診療所開設等を目指していきます

町では、各地区ごとに病院・医院を設置するという方針に基づき、今日に至っている。しかし、医師の高齢化やなり手不足という社会環境により、無医地区になる可能性を持っている。須走地区においては、東富士病院が令和6年度に御殿場市に移転すると聞いている。

また、自衛隊富士病院も令和7年度に一般診療を中止すると聞いており、地域住民の医療環境が危ぶまれている。

されている人が困らないよう、来年度から他の町内の医療施設への誘導などの対応を早急に検討します。また、新たに診療所などの医療環境の整備が必要と考えていて、今後、町医療問題協議会や医師会、県などと相談・協議しながら検討します。

Q 地域の格差への対応について伺う。
A 町長
小学校区単位に医療施設があることが望ましいと考えているため、須走地区に診療所等の開設を目指し、町民の安心・安全の確保に努めます。

Q 脱炭素社会を進めるための方策は A 公共施設の脱炭素化を優先して進めていきます

町は、現在太陽光発電システム・太陽熱利用システムの補助制度を行っている。また、電気自動車の公用車を購入するところであり、脱炭素社会についての取り組みを町民にアピールするとともに、企業・町民に協力をお願いが必要がある。

Q 脱炭素計画を進めるためにどのような施策を考え、推進しようとしているのか伺う。
A 住民福祉部長
まずは公共施設への太陽光パネル・木質燃料ストーブの導入や建物の断熱化、公用車のEV化、充電設備の配置など、町民や企業の皆様に対し、

脱炭素化・温暖化対策の模範となるような取り組みを進めていきます。
Q 新規購入する電気自動車をラッピングして広報媒体として活用することができないのか伺う。
A 住民福祉部長
公用車へのラッピングは視認性が高く効果的

あることから、デザイン公募などを含め、多くの方が環境を意識するきっかけになるよう実現に向けて検討していきます。



保存が検討されている旧湯山邸

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



岩田 治和

Q 文化財の保護と継承は A 文化財の適切な保護と継承に努めます

全国各地域には、多種多様で豊かな文化財が存在し、その厚みが地域全体の豊かさを成していると言われている。

各地域の活性化を促すうえで文化芸術や文化財の保護は極めて重要となっている。しかし、維持継承するには大きな経費が生じ、財政難から維持困難になる自治体も少なくないことが知らされている。

本町においては、これまでに建造物として豊門会館、西洋館、森村橋等、後世に残すべき建造物の保存を推進し、大変意義があり町民からも理解されていると思われる。

今回、谷戸地区のすげぬまこども園の北西に位置する旧湯山邸の古民家の保存について近隣の方々から強く要望が出ている。

この旧湯山邸は、小山町史にも記載されている歴史的にも大変由緒あるお宅であり、築100年ほどの茅葺屋根で建てられている。これまで農家を営まれ、建物は養蚕のための造りとしていることから、地域の文化財としては大変価値の高い建築物と考える。

すでに、土地及び家屋については、こども園の造成工事の際に、駐車場用地として町への買収が済んでいると聞いている。現在、本町には郷土資料館等の施設は少なく、明倫小学校の教室に昔の農機具が展示され残っている程度である。建物を解体することは簡単だが、地域文化の維持と継承は困難であり、現状を保存し、郷土資料館(倉庫)としての活用が大変意義のあることと考える。

本町には、さらに歴史的・文化的な価値のある箇所も多く、新たに発掘すべきと考える。

「富士山」をはじめ、豊門会館などの建造物、そして足柄城跡など、地域を特徴付ける重要な文化財が数多く存在しています。その中には、旧湯山邸のような未指定の文化財の古民家もあり、大正から昭和初期にかけての養蚕農家の実情を伝える重要な建造物であることから、町史編さん時において、調査及び記録保存を行いました。

旧湯山邸の今後の利活用については、地域住民や隣接するすげぬまこども園の園児との交流の場とするなど、様々な活用が考えられますので、多くの皆様方からの意見を頂きながら、検討を進めていきます。

また、町内の文化財を末永く後世へ継承していくとともに、適切な活用を推進していくことを目的に、「小山町文化財保存活用地域計画」を現在作成していますので、この計画に基づき、適切な文化財の保護と継承に努めていきます。

Q 今後、観光面にも大いに活用できると推察される文化財の保護と継承について伺う。

A 教育長

また、町内の文化財を末永く後世へ継承していくとともに、適切な活用を推進していくことを目的に、「小山町文化財保存活用地域計画」を現在作成していますので、この計画に基づき、適切な文化財の保護と継承に努めていきます。

一般質問 (一括)



池谷 元
(会派 令明)

YouTubeにて
この一般質問
の様子がご覧
いただけます



モータースポーツの聖地 富士スピードウェイ

Q 元気にぎわいプログラムの推進について A 地域資源を活用した観光交流を推進します

第5次総合計画において、町は観光サービスの提供、情報発信で国内需要の拡大を図るとあるが、どのようにするのか伺う。

Q サイクルイベントの参加者を増やすために、どのようなイベントを考えているのか。

A 町長 ツアー・オブ・ジャパン富士山ステージやママチャリグランプリなど、多彩な自転車レースに加え、オリンピック・パラリンピックコースを活用したサイクリングなど、様々な形で自転車に触れ親しむ機会を設けます。

Q 利用者が少ないフジサイクルゲートのレンタサイクルを、どのように活用するのか。

A 町長 自転車通行空間の整備

状況や休憩場所の活用など、安全で快適な利用環境をPRし、サイクリングイベントや期間限定のキャンペーンを実施していきます。

Q 富士スピードウェイのリピーター増加を図るモータースポーツ協会の役割はどのようなものか。

A 町長 大会装飾旗等による機運醸成、地元団体のステージ出演、陸上自衛隊富士学校による演奏、装備品の展示、打ち上げ花火など実施しています。また、町の観光、特産品やふるさと納税のPR、あしがら温泉へのシャトルバス運行など、町の魅力を発信しています。

Q レンタサイクルとモータースポーツの聖地

づくりは、将来的な人口増加につながる。より多くの方に小山町を知ってもらい伝え方が必要と考える。

小山パーキングエリア周辺工事の進捗状況と今後のPR活動は。

A 町長 富士スピードウェイ西ゲートから東側の開発区域は、今年度中に造成工事が完了します。町では、民間事業者と連携した体験型ツアーなど企画していますので、観光協会や商工会等と協力して情報発信に努めます。

Q レンタサイクルのキャンペーン告知や情報をどのように発信するのか。

A 経済産業スポーツ部長 町広報紙や地域のフリーペーパーのほか、広域観光組織と連携し、自

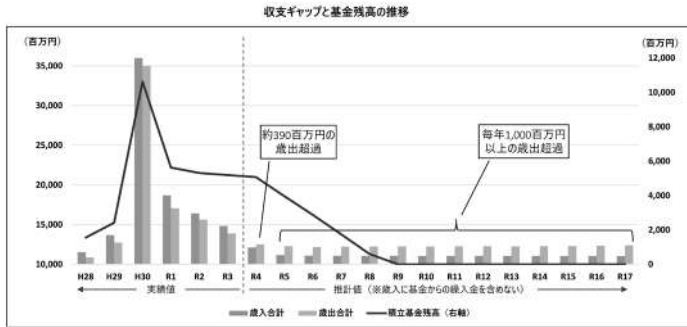
転車や旅行雑誌へ掲載します。また、町ホームページやライン、インスタグラムなど、SNSによる速報性、広範性を生かした発信を行います。

Q モータースポーツの聖地づくりについて、イベントでどのように誘客をしていくのか。

A 経済産業スポーツ部長 富士スピードウェイ周辺の環境は、他にはない強い誘客力が見込まれるので、モータースポーツに関連した企業等と連携し情報発信を強化します。

収支ギャップと基金残高

- 設定した条件（P46～P50参照）のもとシミュレーションを実施した場合、令和4年度以降は歳出超過となるため、基金から繰入を行い歳出超過分（以下「収支ギャップ」という）を補う必要があります。
- 令和4年度については、前年度繰越金があることにより収支ギャップも約390百万円とやや低い水準でしたが、令和5年度以降は前年度繰越金がないことから1,000百万円以上の大きな収支ギャップが生じております。
- 人口減少による税収の減少や、物価上昇により収支ギャップは年々拡大傾向にあり、令和9年度には基金残高が0となる見込みです。



長期行財政運営計画における財政状況の見通し

一般質問 (一括)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



牧野 恵一

Q 小山町長期行財政運営計画と役場の本気度を問う
A 長期的な視点で持続可能な行政運営に取り組みます

小山町は令和5年3月に、令和5年度から令和17年度までの長期行財政運営計画をまとめた。

したばかりの長期行財政運営計画を令和6年度に見直すことを示唆している。

主な内容は、ふるさと納税で拡大した建設事業をふるさと納税以前の規模に縮小すること、職人件費の総額を令和3年時点の22億7500万円を21億5000万円程度に削減すること、今後、公共施設の維持管理費に窮することになるので、公共施設を減らすべきである等であった。こうした対策を講じなければ財政が底をつき、令和9年度には実質的に小山町は財政破綻に陥ってしまうと警鐘を鳴らしているのである。

町民参加で作った計画であるのに、役場は本気で取り組む気があるのか疑わしい。

町長

長期行財政運営計画の目的は、将来起きうる予測困難な事態にも対応できるよう持続可能な行政運営を実現するための方針を打ち出すことです。方針については、今後14年間の財政状況の推計を踏まえ、長期的な視点で持続可能な行政運営に資するものとして、行政経営の仕組みを強化していくものと位置付けています。その取り組みは、過去の決算状況から目安となる財政規模を示し、長期的に財政規模のダウンサイジングを目指す計画ですが、短期的には、総合計画及び政策提言の早期実施により、目安を上回る財政規模となることが予想されます。本計画に記載された、行政サービスの向上と事務の効率化、組織の見直しは、持続可能な行政運営には欠かせない取り組みです。関連する計画等となる行政改革大綱や定員適正化計画、DXガイドラインなどにより、その取り組みを推進します。

また、込山町長は町を再稼働させるとして、温水プールや駿河小山駅タウンセンターの建築を明言しているが、町の財政破綻を早めてしまうのではないか。

企画総務部長

業務見直し等による経常経費の削減に取り組むとともに、インフラ整備では国や県の補助金や交付税措置のある有利な地方債を活用することで、財政負担の軽減を図るなど、持続可能な行政運営に取り組みます。

町長

各学校の屋外プールの温水プールへの集約は、

維持管理費の縮減が可能になるなどのメリットがあります。駿河小山駅前タウンセンターの建設は、公共施設の再編にも寄与し、町民の生活利便性の向上や、地域づくり、税収の確保、住居の提供など様々な効果が見込まれます。それら事業に民間の力を最大限活用し、事業化すると一時的に本計画の目標額とした金額を超える可能性もあります。長期的にみると整合は取れていると考えます。

議会改革調査 特別委員会を 設置

地方分権、行政運営の
変化、住民意識の多様化、
住民による行政参加、議
員のなり手不足等々によ
り、議会を取り巻く環境
は日々変化しています。
それらに対応していくた
めに、議会及び議員は、
研さんや努力を続けてい
かなくてはなりません。
議会本来の役割である
政策形成や執行機関の監
視といった機能強化にと
もに、住民に親しまれ、
信頼される議会の実現を
目指し、議会改革の取り
組みを調査・研究する目
的で設置するもので、全
員賛成で設置が可決され
ました。



広報広聴委員会

広報広聴委員会の主な
役割は議会だよりの作成
そして議会報告会の調整
並びに実施です。
広く皆様に議会への理
解を深めていただき、更
なる開かれた議会を目指
し、新たな委員6名で取
り組んでいきます。

【役割】

- ① 広報とは
議会の活動状況を広く
町民に情報提供する。
- ② 広聴とは
住民の声をくみ取り、
住民と議会の意思疎通
を図る。

【新たな取り組み】

- 今回から…
- ① 「優しくシンプルに、
多くの皆様に」をコン
セプトに、表紙のデザ
インを一新しました。
 - ② 多くの人に分かりやす
く、読みやすいUD
フォントを導入しまし
た。

今後より良い

「議会だより」
を目指します。

岩田 治和
委員

白井 光昭
委員

渡辺 悦郎
委員長

小林 千江子
副委員長

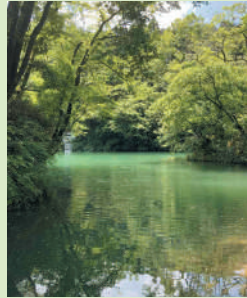
平野 正紀
委員

池谷 元
委員



わたし の ベストスポット

議員本人が町民の皆様にお勧めしたい、町内のここぞと思う場所を紹介します。



「八重桐の池」

静かな山の中にある池。堰堤の石碑。中島の勝福寺をさらに先へ進んでいくと、金太

郎の母「八重桐」の名にちなんだ農業用のため池である「八重桐の池」があります。池の周りを散策できる遊歩道があります。広場には東屋と鬼太郎の家を思わせるツリーハウス。そして、池の奥には手作りの白い跳ね橋。少しお疲れ気味の跳ね橋ですが雰囲気は素敵。八重桐の池はコミュニケーションバスも停車します。トイレも整備されて快適な水辺の公園です。駐車場もありますので



ご安心ください。農業用のため池のため3月から9月まで池に水が入っています。春には地元の方が植えた山桜が咲きます。9月には完全水抜き状態なので池の底を見ることが出来ます。散策するなら緑が映える天気の良い午後がおススメ！

(紹介者 池谷元)

議員研修報告

議会町内視察研修

富士浅間神社・クレフォート東日本(株) 富士モーターズポーツフォレストウェルカムセンター等

富士山とその構成資産が世界文化遺産に登録されてから10周年を迎えたこともあり、富士浅間神社を視察した。以前は浅間神社で参拝した後に登



社務所の2階にある資料館

山に向かう登山者が多かったが、近年、参拝者が減っているとのこと。登山だけでなく、多くの方々が関連する文化遺産にも関心を寄せていただけるよう工夫を凝らす必要性を感じた。

次に、富士モーターズポーツフォレストにオープンしたウェルカムセンターとルーキーレーシングガレージを訪れた。ウェルカムセンターではモーターズポーツへの

「挑戦や取り組み」、そして水素エネルギーを用いた脱炭素社会の実現に向けてのビジョンを伺うことができ、近未来の車社会を垣間見ることができた。

さらに、令和4年11月小山町湯船原地区で、卵を主原料とした加工食品の操業を開始したクレフォート東日本(株)を視察し、「高品質」へのきめ細かなこだわりを見ることができた。

今回の視察研修で、改めて小山町が持つ多様な高付加価値な資産を再認識し、今後も情報発信やPR活動に力を入れていきたいと思う。

(記 白井光昭)



ウェルカムセンターのロビーにて

9月定例会の開催予定

- 8月28日【月】開会
- 町長提案説明
- 8月30日【水】決算補足説明
- 9月6日【水】決算質疑
- 9月7日【木】一般質問
- 9月8日【金】一般質問
- 9月12日【火】(予備日) 総務建設委員会
- 9月14日【木】文教厚生委員会
- 9月21日【木】閉会

いずれも、開会時間は10時の予定です。決定次第、無線放送でお知らせします。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。内容を詳しく知りたい方は、図書館等や町のホームページでも会議録が閲覧できますのでご覧ください。

編集後記

全国的に少子高齢化が叫ばれ、多くの自治体で移住定住促進策を考えている。小山町も例外ではなく、多種多様な施策で人口増加を推進しているが、全員が満足のできる企画は少ないようである。若者の移住を考えると、職場、住居、生活の利便性、教育、子育て充実、また地域社会への加わりやすさが重要とされている。

移住される方に支度金や助成金などの優遇策を設ける自治体も多く見受けられるが、受け入れる側の行政、住民からも住宅供給や生活しやすい環境の整備などを一括して提供する努力が必要であると考えている。皆様のご意見をお聞かせください。

(記 岩田治和)

《編集委員》

- 委員長 渡辺 悦郎
- 副委員長 小林千江子
- 委員 池谷 元
- 委員 平野 正紀
- 委員 白井 光昭
- 委員 岩田 治和